

一般質問の報告の続き・・・

②有害鳥獣対策について

有害鳥獣対策については、今年もしっかり予算をつけることができました。

平成29年度から、侵入防止策として、集落柵に対し国・県から1/2の補助に1/4の市独自の上乗せ補助ができるようになりましたが、今年も継続することができました。

しかし、平成29年度から捕獲対策として、それまで補助されていなかった猟期中の捕獲に対して、1頭8,000円の捕獲補助金が出るようになりましたが、今年度は市の4,000円は去年通り出ますが、県の4,000円が廃止されてしまいました。昨年度の猟期の捕獲は、280頭（イノシシが197頭・鹿が83頭）でした。ちなみに猟期の捕獲に補助金が出ていなかった平成28年度は、123頭でした。

これをみても、猟期の捕獲の補助金がどれほど有効であるかは、お分かりいただけると思います。

今後は、市から県に補助金の復活をしっかりと要求していただきたいと思います。私も、県議に補助金の復活をしっかりと要求します。

行政報告の続き・・・

今年度の予算で一番大きいのは、JR3駅の改修予算です。

待ち望んでいた、トイレの改修が、駅に公衆トイレが新設されることによって、改善します。それ以外にも、ロータリーの整備、駐輪場の整備、歩車分離などの予算が含まれていますが、長船駅に関していえば、最優先は、トイレとバリアフリー化（エレベーターと陸橋の屋根）だと思います。残念ながら、バリアフリー化の予算は、今年度予算には含まれていませんが、最短での整備を要求し続けていきます。

また、長船駅に関していえば、駅前の道路の整備も必須です。道路の整備なくして、駅前の発展はありません。みなさんもそう思われませんか。これについても、粘り強く訴えていきます。



平成30年度の予算で大変うれしい予算があります。それは、長船美しい森を柵で囲う予算です。長船美しい森は、年間2万人が訪れる憩いの場です。

遊具、バーベキュー広場、野外ステージのある素晴らしい施設です。それがここ最近、有害鳥獣に荒らされ残念な状態にありました。柵で囲うことによって、より有効な子育て広場として利用できるよう強く要望していました。

今年度中に、鹿の侵入も防ぐ高さ2メートルの柵を設置します。

みなさん、楽しみにお待ちください。

今回も私の拙い行政報告にお付き合いいただきまして、ありがとうございます。

ぜひ皆様の感想等、何かの折に声をかけてやってください。

よろしくお願い致します。



行政 NEWS

とっしん

vol.20

目には青葉、本当にさわやかな季節がやってまいりました。今年度は春が駆け足でやってきました。近年にない寒い冬でしたが、この春を迎える喜びはまたひとしおです。

私は、2期目最初の予算議会（2月議会）を終えました。平成30年度も課題山積です。詳細は追って報告させていただきますので、じっくりお読みいただけたらと思います。

皆さまには本当にいつも、温かく見守っていただき、そして励ましていただき本当にありがとうございます。

私はいつも、皆さまの声を市政に届けていきたい、その思いでいます。その思いは、今もこれからも変わることはありません。引き続き力強いご支援の程、よろしくお願い申し上げます。

今回の私の一般質問は

①公共交通の整備について

②有害鳥獣対策について を取り上げさせていただきました。



地元【多賀神社】

2018年3月1日山陽新聞東備版に掲載されました。

①公共交通の整備について

昨年11月から運行を開始した市営バスですが、

牛窓一邑久線が 1便当たり 平均1人

鹿忍一邑久線が 1便当たり 平均0.4人

美和線（磯上）線が 1便当たり 平均1.2人

トータルで平均0.9人となっている。

市営バスの利用者増に向けての対策として、私から3点提案しました。

1点目は、美和線沿線の唯一の交通不便地域である牛文を走ることではないかということです。

牛文の人口は、300人強、70歳以上は100人弱です。牛文を走っても、現在の停留所を変える必要はないし、余分に3分もかからないと思います。ぜひとも、市民の切実な声に応えて欲しいと訴えました。

後日、3月16日に公共交通会議が開催され、美和線で牛文を走ることが提案され、遅くとも9月には実現する見込みです。

2点目は、市民要望の多いバスのフリー乗降（乗りたい所で乗り、降りたい所で降りる）を導入することではないかと訴えました。

県道は無理でも、いなかの道では実現可能ではないでしょうか。引き続き要求していきます。

3点目は、市営バスは地味で分かりにくいという意見があります。バスも市をPRする重要なアイテムだと思います。市民みんなで作り上げたバスにすることができれば、より親近感を持ち、乗る人が増えるのではないかと訴えました。

副市長からは、前向きな回答をいただくことができました。今後も粘り強く訴えていきます。



日下俊子氏が利用が伸び悩む市営バスに關して、総合政策部長は、沿線世帯を対象にアンケートを行ったことを紹介し、『3月中旬には集計を終える。結果を基に、路線や停留所の位置、ダイヤの見直しを含めた利用促進策を検討していく』と答弁した。

平成30年4月23日発行
発行責任者 瀬戸内市議会議員

くさか としこ



〒701-4273
瀬戸内市長船町磯上 569
TEL/FAX 0869-26-6420
携帯 TEL 090-5702-8336
ホームページ
<http://www.kusaka-toshiko.jp/>

【くさかしこ】が見た瀬戸内市の行政！

それでは、行政報告をさせていただきます。
2月議会では今年度の予算を審議し、反対はありましたが、賛成多数で可決しました。
当初予算を家計簿になぞらえて、わかりやすく説明したいと思います。

瀬戸内市の家計簿！ (一般会計)



今年の地方交付税は、
3億6千万円減額の、42億円
市債のうち、財政調整基金が7億5千万円
それ以外は、目的基金からです。

一般会計 179.3億円
～合併後最大規模予算 14億貯金繰入～
特別・事業会計 189.8億円

今回の予算の中で大きなものは

- ・JR3駅の整備に 約5億9千万円
- ・有害鳥獣対策に 約3千万円
- ・病院駐車場整備に 約8千万円
- ・邑久スポーツ公園改修に 約5,600万円
- ・邑久学校給食調理場業務委託に 約5,200万円
- ・裳掛に保育園型子ども園設置に 約1億9千万円
- ・公共施設の省エネ改修及び学校エアコン設置に 約4億6千万円
- ・幼稚園のエアコン設置に 約6,600万円
- ・市役所本庁駐車場整備に 約3,100万円
- ・市役所本庁トイレ改修に 約3,200万円
- etc・・・

詳細は、議会だより・広報にも記載されていますので、
そちらもご覧下さい。

給料

【収入】(億円)

	平成29年度	平成30年度
基本給(市税)	48.7(28.4%)	48.6(27.1%)
諸手当(地方交付税など)	54.1(31.5%)	51.2(28.5%)
奨学金、助成金(国・県支出金)	24.5(14.3%)	26.4(14.7%)
ローンの借入金(市債)	17.7(10.3%)	25.5(14.2%)
パート収入など(その他)	26.3(15.5%)	27.6(15.5%)
合計	171.3億円	179.3億円

【支出】

	平成29年度	平成30年度
家族の医療費、保育料など(扶助費)	26.1(15.3%)	28.4(15.8%)
車や家電製品の購入費など(普通建設事業費)	18.6(10.8%)	27.9(15.6%)
食費(人件費)	30.9(18.0%)	29.8(16.6%)
光熱費、水道代、通信費、家賃など(物件費)	25.8(15.1%)	28.2(15.7%)
ローンの返済(公債費)	17.3(10.1%)	16.2(9.1%)
子どもへの仕送り(繰出金)	19.8(11.6%)	16.5(9.2%)
その他(補助費など、その他)	32.8(19.1%)	32.3(18.0%)
合計	171.3億円	179.3億円

～とうとう公共施設の再編の計画が提出されました～

本庁舎の再編計画が提出されました。

- A案 本庁舎を向かいの土地に建て替える。
- B案 現在の本庁舎を建て替える。
- C案 東庁舎を増築する。
- D案 北庁舎を増築する。
- E案 本庁舎を新天地に新築する。
- F案 ゆめトピア長船に本庁舎を新築する。

現在の計画では、ベストプラン
は、A案とされています。

それとともに、長船地区の長船支所・長船分駐所・長船町公民館の今後について、

- ① ゆめトピア長船内の保健福祉部は、将来的に本庁に統合することを見越したうえで、ゆめトピア長船敷地内に仮庁舎を建設し(3億円)、移転する。
 - ② 長船支所は、ゆめトピア長船内に移転するか、長船分駐所と合築で新設する。
 - ③ 長船町公民館は、ゆめトピア長船に移転する。
- 以上3点を軸に整備を検討するとされました。

くさかしこの主張

私はかねてからずっと主張していますが、長船町公民館は市民の学習と集いの場であることは言うまでもありませんが、なにより福里地区の人々の安心の避難所でもあります。

昭和51年9月の大水では、何百人もの人が、長船町公民館の2階に避難したと聞いています。これは、その時の写真をもらったものです。建物の1F部分まで、水がき



て船で人が移動しているのが見えます。
こんな思いをした人々の安心の避難所を、なくして大丈夫でしょうか？
限られた財源の中で、現在の行政サービスを維持するために、公共施設の再編が必要なことも分からなくはありません。

ただ、この3万8千人の町に中学校単位の公民館と、保健福祉センターが管理運営できないようで、行政といえるのでしょうか？

また、本庁舎の再編についても、合併の時に合併の条件として、長船にはゆめトピア長船、牛窓には警察と教育委員会を置くと考えています。

合併から10年以上たったなら、何もなかったかのようにいつのまにか邑久に統合してしまうやり方も、本当に市民の理解が得られるのでしょうか？

保健福祉センターと保健福祉部はセットであったほうが、よいのではないのでしょうか？
それだったら、ゆめトピア長船内に合同庁舎を新設するのが、ベストではないのでしょうか？

この計画は、まだまだ議論が必要です。もっともっと、研究も必要です。
時間をかけて、しっかり計画していく必要があると思います。しっかり皆さまの声をお聞かせください。

福里では、【福里に公民館を守る会】が立ち上がりました。
地域の声をしっかり届けていくお手伝いをしたいと思います。

今議会に提出された条例に待ち望んでいたものがあります。
それは、『手話言語条例』と『放課後児童クラブ条例』です。
『手話言語条例』は、手話を言語として認めるもので、手話に対する理解を広げ、地域で支えあい、手話を使って安心して暮らすことができるまちを目指すために制定するものです。
今後、要約筆記等でコミュニケーションがとれる方策についても、設置していく必要があります。
『放課後児童クラブ条例』については、放課後児童クラブを保護者会で運営していることについて、保護者の負担が重すぎるとずっと訴えてきました。この条例制定によって、指定管理者制度を導入して民間に運営をお願いすることができるようになります。早期の保護者の負担軽減を目指します。